

事務事業	83	水位警報装置の改良					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	02	災害に強い安全なまちづくり					
施策	01	防災都市づくり					
<b>事業内容</b>							
目的	水位警報装置の老朽化が進んだことから、機器を更新し、集中豪雨時に適切な対応ができるようにします。						
対象・手段	水位警報装置の配置等を見直すとともに、監視体制強化に向けて機器を改良します。						
<b>成果(事業が意図する成果)</b>							
集中豪雨時に的確な状況把握が可能となり、水害に対し適切な準備、対応が可能となります。							
<b>事業成果指標</b>							
指標名		定義			目標水準		
水位警報装置 (監視装置、情報端末、監視局)		箇所 (水位警報装置を設置している箇所)			(平成17年度)に (12箇所)の水準達成		
水位警報装置の追加		箇所 (水位警報装置を設置している箇所)			(平成18年度)に (1箇所)の水準達成		
					( )年度に ( )の水準達成		
<b>成果の達成状況</b>							
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業 成果 指標	目標値 1	箇所	0.00	0.00	12.00	0.00	
	実績 1	箇所	0.00	0.00	12.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	100.00	0.00	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	1.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	1.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
<b>事業の実施内容</b>							
平成17年度	水位警報装置改良工事						
平成18年度	水位警報装置増設工事						

部名称		環境土木部			課名称		土木課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	0	事業費については、発生主義の考え方を取り入れています。 <減価償却費の算定> 工事費154,695千円 ×90%（残存価値10%） ÷耐用年数10年 = 13,923千円 工事費28,743千円 ×90%（残存価値10%） ÷10年 = 2,586千円	
	人件費	千円	0	0	4,169	1,656		
	事務費	千円	0	0	0	0		
	減価償却費等	千円	0	0	13,923	16,509		
	総計 = + + +	千円	0	0	18,092	18,165		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	0	0	18,092	18,165		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	0	0	18,092	18,165		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	0.00	0.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.50	0.20		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
<b>事業に関する検討課題</b>								
<p>平成17年9月4日の集中豪雨では、妙正寺川の上流域で時間雨量100ミリを超え、河川護岸の決壊等大きな被害が生じました。このため、警報サイレンの重要性が再認識されました。今後は、緊急時に装置が安定して動作するよう、保守することが重要となっています。</p>								
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	予定どおり工事が完了しました。					
	効率性	3	河川改修が行われていることから配置を見直し、本工事を実施しました。					
	実施の成果	3	監視体制が大幅に向上しました。					
	行政の関与	3	水防管理者として区が実施することは妥当です。					
	妥当性	3	河川水位の監視には必要な装置であり、代替施策はありません。					
	施策寄与度	3	機器の更新等により監視体制の強化が図られたことから、目的達成には大きく寄与しています。					
総合評価	平成17年8月1日に水位警報装置を改良したほか、平成17年9月4日の集中豪雨では、妙正寺川の護岸が決壊する等大きな被害が発生し、警報サイレンの重要性が再認識されたため、平成18年度に新たにサイレンを増設し、水防への備えを強化しました。その結果、水防等に関する業務に活用されているため、大いに評価できます。						B	
							過年度評価	
改革方針	水位警報装置は、改良及び追加により大幅な整備が完了したことから、事業を廃止します。今後は、緊急時にも装置が安定して動作するよう保守していきます。						17年度 A 16年度 15年度 14年度	
							方向性	
						6	休廃止	